

第13期（2026年3月期）決算公告

2026年6月30日

東京都品川区西品川一丁目1番1号
住友不動産大崎ガーデンタワー
株式会社アトラス
代表取締役 大橋 修

第 13 期 事 業 概 況

自2025年4月1日

至2026年3月31日

事業の経過及びその成果、事業の状況

エンタテインメントコンテンツ事業を取り巻く環境としては、コンシューマ分野におきまして、インフレーションの進行等による経済環境の悪化から足元の成長は踊り場を迎えております。

また、人件費の上昇や開発期間の長期化等によりゲーム開発コストの上昇が続いており、こうした事業環境の変化への対応が急務となっております。

一方で、サービス提供形態の多様化により、デバイス・プラットフォームを問わず、全世界に向けてより長期にわたってコンテンツ・サービスを提供できる環境が整ったことから、当社のゲーム事業の成長に対する期待は継続しています。

コンシューマゲーム事業においては、

◇RAIDOU Remastered: 超力兵团奇譚

◇『ペルソナ3 リロード』Nintendo Switch 2版
を発売いたしました。

2025年6月には『RAIDOU Remastered: 超力兵团奇譚』を発売し、PC、PlayStation 4、PlayStation 5、Nintendo Switchシリーズ、Xbox Series X|S向けに展開いたしました。複数プラットフォームへの同時展開により、国内外におけるユーザー接点の最大化を図っております。

また、2024年10月発売の『メタファー：リファンタジオ』は、2025年9月に「日本ゲーム大賞」を受賞し、ブランド力の向上に寄与いたしました。

『ペルソナ』シリーズにおいては、『ペルソナ3 リロード』の全世界累計販売本数が200万本を突破いたしました。さらに、2025年10月にNintendo Switch 2版を発売し、対応プラットフォームの拡充を実施しております。

また、2025年6月には『ペルソナ』シリーズ初となるモバイル/PCゲーム、『ペルソナ5：The Phantom X』がiOS、Android、PC向けに日本およびグローバルでサービスを開始いたしました。

これらの継続的な取組の結果、『ペルソナ』シリーズの全世界累計販売本数は3,000万本を達成し、グローバルIPとしてのプレゼンスを一層強化しております。

2026年には『ペルソナ』シリーズが30周年を迎えるにあたって、1月より年間を通じた記念プロジェクトの展開を開始いたしました。記念ビジュアルの公開、関連商品の投入、各種イベントの実施など、継続的な情報発信を行い、既存ユーザーの活性化と新規ユーザーの獲得を推進しております。

ライセンス事業においては、ペルソナ30周年施策の一環として交通機関や各種商業施設などを含む、異業種とのコラボレーションを実施し、新規顧客へのIP接点の多様化を図っております。ゲーム領域に留まらない展開により、認知拡大とIP価値の持続的向上を推進しております。

音楽ライセンス事業においては、2025年12月に『ペルソナ5 スペシャル・ビッグバンド・コンサート』および『メタファー：リファンタジオ オークストラコンサート』を開催するなど、新たな試みを継続的に行っております。

加えて、2025年4月には中国（上海・北京）で『PERSONA LIVE TOUR -more ahead-』を実施、さらに2026年1月にはアメリカ（ロサンゼルス）で『Persona Live 2026: Awakenings』を開催するなど、海外展開を強化しております。これらの取組により、アジアおよび欧米圏におけるユーザー基盤の拡大を進めております。

このような経営環境のもと、当事業年度における売上高は11,534,624千円（前期比6.6%増）、営業利益は2,077,911千円（前期比92.5%増）、経常利益は2,085,361千円（前期比86.1%増）、当期純利益は1,489,168千円（前期比74.2%増）となりました。

今後もお客様に喜んでいただけるゲームタイトルを開発し、グループ業績へのさらなる貢献を目指してまいります。

貸借対照表

〔2026年3月31日現在〕

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	4,714,793	流動負債	1,899,481
現金及び預金	108,525	未払金	182,427
売掛金	716,535	未払費用	871,443
未収入金	47,532	預り金	46,851
前払費用	69,939	賞与引当金	367,020
関係会社預け金	3,765,444	未払法人税等	431,735
立替金	6,575	その他	2
その他	240	固定負債	43,693
固定資産	618,739	長期未払費用	43,693
有形固定資産	305,986		
建物及び附属設備	250,272	負債合計	1,943,174
工具器具及び備品	55,714	(純資産の部)	
無形固定資産	20,946	株主資本	3,390,357
ソフトウェア	20,946	資本金	10,000
投資その他の資産	291,805	利益剰余金	3,380,357
長期前払費用	10,871	利益準備金	2,500
敷金及び保証金	20	その他利益剰余金	3,377,857
繰延税金資産	280,914	繰越利益剰余金	3,377,857
		(うち当期純利益)	(1,489,168)
		純資産合計	3,390,357
資産合計	5,333,532	負債・純資産合計	5,333,532

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

〔 自 2025年4月1日
至 2026年3月31日 〕

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	10,000	2,500	2,197,442	2,199,942	2,209,942	2,209,942
当期変動額						
剰余金の配当			△308,753	△ 308,753	△ 308,753	△ 308,753
当期純利益			1,489,168	1,489,168	1,489,168	1,489,168
当期変動額合計	-	-	1,180,415	1,180,415	1,180,415	1,180,415
当期末残高	10,000	2,500	3,377,857	3,380,357	3,390,357	3,390,357

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間である5年間の定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

役員及び従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち、当事業年度における負担分を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度の適用

セガサミーホールディングス株式会社を通算親法人としたグループ通算制度を適用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

種類	発行済株式の数
普通株式	10 株

(2) 配当に関する事項

① 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2025年6月23日 株主総会	普通株式	308,753	30,875,304円80銭	2025年 3月31日	2025年 6月23日